

「ささえりあ三和」は熊本市の委託を受け、「城山・高橋・池上」三和校区を担当しています。

地域で認知症になっても安心して暮らせる街づくりをめざして

高齢者は、自分の病気や将来への不安、一人暮らしの淋しさなどから、うつなどの精神的な病気や認知機能低下などになり、外出や病院受診・お金や書類の管理・終活など、日常生活の中で様々な問題を抱えて生活されています。その不安を少しでも解消できれば、在宅での生活も継続できると考えます。今回は、不安を抱えておられる高齢者のために、解決できる方法のいくつかをご紹介します。



Aさん

帰る道がわからない

亡くなった後のことが心配だ

郵便を見ても内容がわからない

お金の管理ができない

ひとり暮らしで不安だ

・90代女性、認知症で一人暮らし。
・子どもや身寄りの方はおらず、地域住民の方へ、わからないことを毎日のように聞かれています。

食事の準備が大変になってきた

認知症で一人暮らしをしているAさんを支える人・サービスがあります！

(認知症が進行する前に)

- ・最期の迎え方をどうするか
- ・遺言書の書き方は？
- ・亡くなった後の手続きについてなど

- ・お金の管理ができない
- ・施設入所の手続きをお願いしたい
- ・不動産の管理や処分についてなど

- ・道に迷う
- ・物忘れが増えた
- ・日中、ひとりで過ごすことが増えた



**公証人
公証人制度**



**成年後見
制度**



**地域住民
介護保険サ
ービス等**

一人暮らしの認知症の方を一人にさせない。不安にさせない。声をかけあう街。そんな三和校区を目指していきましょう。

